

小さくても「700℃！」 そのたばこの火

しょうぼうの広場

火災、救急、救助は...

119

最近、喫煙場所が限られていたり、歩きたばこが規制されるなど、たばこは厄介ものの扱いされがちで、禁煙をされた方も多いのではないのでしょうか？

一方このたばこは、毎年出火原因の上位にランクされ「防火の面からも厄介もの」となっているのが現状です。今日愛煙家のマナー向上が叫ばれていますが、火災を防ぐ意味でも「喫煙のマナー向上」をぜひお願いいたします。

**たばこの火が落ちたら
水をかけて確実に消しましょう！**



◆**ここが危ない！**
たばこの火の先端は、約700℃～800℃と非常に高温で、衣類や紙くずなどに簡単に火を付けるだけのエネルギーを持っていきます。
また、たばこの火はすぐに燃え広がらない場合が多く、中にはたばこの火が燃え移ってから10時間以上も経って出火したというような事例さえあります。布団などにたばこの火が燃え移った場合、十分に水を含ませて必ず消火の確認をしましょう。

たばこ 防火のポイント

- 一、寝たばこは絶対にするべからず
 - 一、たばこの投げ捨てするべからず
 - 一、吸殻をくずかごに捨てるべからず
 - 一、灰皿には水を入れておくべし
 - 一、灰皿の周りの整理整頓をするべし
 - 一、灰皿のあるところなど
- 決められた場所で吸うべし
灰皿を吸殻でいっぱいにするべからず

◆一日消防署長 防火を呼びかけ◆

消防署では、秋の全国火災予防運動の一環として、一日消防署長のイベントを11月13日(日)に実施しました。

一日消防署長を務められたのは、さつま町女性団体連絡協議会会長の上別府ユキさんで、田上消防長から辞令を受け取った後、隊員への訓示や決裁事務などを行われました。

また、当日JAさつま農業祭で行われた防火イベントにも参加され、会場内をくまなく巡回しながら来場者と気さくに話をされ、防火をPRしていただきました。その後



農業祭で防火を呼びかける
上別府ユキ一日消防署長

消防一口メモ

**「かぜ」注意報
発令中です！**

空気が乾燥し寒くなると増えてくるのは火災だけではありません。それは暮らしの中で一番身近な病気「かぜ」です。「たかがかぜ」と油断してこじらせていませんか？
かぜは万病のもととも言われています。このかぜを予防するために、も次の点に注意しましょう。
うがい・手洗いをする。
適度な運動と十分な睡眠を心掛ける。
バランスよく栄養をとる。

10月の救急・火災情報



救急

- ◆ 出動件数 69件
- ◆ 運んだ人 64人
- ◆ 内 訳
 - 急病 34件 30人
 - 交通事故 8件 7人
 - その他 27件 27人

火災

- ◆ 出動件数 1件
- ◆ 内 訳
 - 建物 1件